

福島医療生協の 現 況

(2017年7月末現在)

組 合 員

28,787名

出 資 金

8億94,590千円

一 人 平 均

31,076円

ふくしま



医療生協

2017年9月号 第385号
発行責任者 渡辺 幸夫
<http://watari-hp.jp/>

福島医療生活協同組合
医療生協わたり病院
生協いいの診療所
医療生協わたり病院附属
ふれあいクリニックさくらみず

TEL 024-522-1236
TEL 024-521-2056
TEL 024-562-4120
TEL 024-559-2664

〒960-8141
〒960-8141
〒960-1301
〒960-0241

福島市渡利字中江町66番地
福島市渡利字中江町34番地
福島市飯野町字後川27-2
福島市笹谷字釜谷地20-1



たのしかったね。
また来年も来てね。



も、普段見られない
病院の中を知ること
ができて勉強に
なったという声、ま
た参加したいとい
う声もたくさんあ
りました。

二歳児から中学二年生ま
で三十三名の参加でした。
人体模型で体の中をみた
り、聴診器を使って体の音を
と、様々な体験は子どもた
ちの夏休みの思い
出になったことと
思います。なかには
「お医者さんにな
りたい!」と目をキラ
キラさせている
子もいました。今回
参加したことが将
来医療の道に進む
きっかけになるのか
もしれません。

親御さんたち

子どもたちについての大切さを知ってもらおう、病
院の仕事に興味を持ってもらおう、地域に開かれた明
るい病院をつくろう、この三つの合言葉をもとに七月
二十九日にわたり病院たんけん隊が開催されました。

夏休み企画 こども病院たんけん隊

子どもの目キラキラ



▲「体の中ってこんなふうなんだね」



▲「体のいろんな音きこえるかな?」



▲薬剤科探検の後はお土産をもらいました。

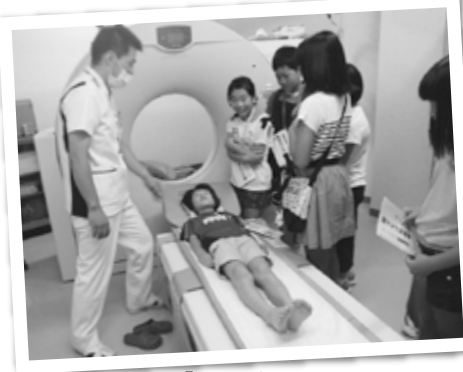


▲病院スタッフです。「みんなどうだった?」

「車いすの体験を通して思
いやりの気持ちも芽生えた
と思います」
「先生またスタッフの方々
ご苦労様です。模型やCT等
を見る時の子どもたちの目
が輝いていたのが印象的で
す」
「お魚のレントゲン写真と
お薬(のど飴と絆創膏)のお
土産はとても喜んでいまし
た」

「テレビドラマの影響で医
療分野に興味を持っていた
ので、これからも参加させ
てもらいたいです」
「祖母が入院・リハビリで
お世話になったので、ゆっく
り病院の中を見学させてい
ただきありがとうございます」
「子どもが認知症や介護
を学べるセミナーがあっても
よいと思います」

保護者の方の感想



▲「CTの台はどんなかんじかな?」



▲「ぶつからないように気を付けて」

けんこうキッズ チャレンジ

毎年行っている健康チャレンジ
ですが、今年は大人だけではなく、
子どもにも勧めています。歯磨き、
運動、早寝早起き、食事など8つの
コースから
選んでチャ
レンジ!
家族みん
なで健康に
なりましょ
う。



7/14

これからの活動 さらなる前進の予感

暮らしの安心づくり活動交流集会

今年の五、六月「暮らしの

七月十四日の交流集会で

安心づくり月間」に、各支部・班で様々な取り組みが行われました。地域を見直しながら、どうしてもすれば安心して暮らせるかを各支部で討議し、活動しました。祭りが地域の様々な事業所と協同で企画・開催されることが多くなりました。「蓬萊福祉まつり」「わたり元気まつり」「ポネールまつり」は地域の祭りとして定着してきています。地域訪問をする支部、支部ニュースを発行する支部が多くなったこともこの間の特徴です。

は、日本医療福祉生協連の松本弘道常務理事に「地域の暮らしと、医療福祉生協・支部の役割」の話をしてもらい学習した後、互いの活動交流を行いました。

中央支部岩淵理事からは組合員地域訪問によって地域の様々な状況が見えてきたという話が報告されました。笹谷大笹生支部からは仮設住宅での今までの支援活動の様子とその後のつながりについて、あづま支部あじさい班からは地域まると、子どもから高齢者までを意識した支え合いの班活動についての報告がありました。

参加者からは、とても前向きな感想が多く、これからの活動のさらなる前進を予感させるものでした。左記はその一部です。

●「流れに沿いながら流されない」主体的な取り組みの重要性が確認できた。
●高齢化社会に向けた行政の方向、その中で支部の役割が大きいことが理解できた。

●介護保険制度から落ちてきていく人を支部がどう支えていくのかは急な課題。
●社会的なつながりが医療生協の財産で、それが健康や長寿につながるものが理解できた。ボランティアは時に辛くなるが、心と健康に良いことを実感した。
●医療生協と地域のつながりを、どのように作っていったら良いか知りたい。
●今まで班活動や支部活動にかかわって来たことが地域包括ケアに役立っていると感じた。

●自治体や介護事業との係わりなど活動が多方面になつていくので、協力者を増やさない大変。
●医療生協が蓄積した力を生かし、流されず主体的に支部の組合員と活動する確信になった。
●医療生協が先取りして行ってきたことが信頼や期待につながっていることに確信を持って運動をすすめたい。
●みんな頑張っていることが分かって感動した。
●医療生協を大きくしたいという思いは一緒だった。



医療生協 わたり病院

高校生二日医療 福祉スタッフ体験感想

夏休みを利用し高校生二日医療福祉スタッフ体験を行いました。

高校生一日看護師体験をして、さらに看護師になりたいと強く思うようになりました。看護師は体力とコミュニケーションが大切なことを知りました。笑顔で話しかける、目を見る、目線を合わせる必要があったと知りました。

手浴をさせていたとき、患者さんから「ありがと」と言われてとてもうれしかったです。

今までオープンキャンパスは経験しましたが、体験は初めてで緊張しました。でも、指導の方がやさしく声をかけてくださったので、なんとかできました。

ストレッチャーを押してみたり、とろみの味見、初めてのことがづくしでも楽しく新鮮でした。リハビリとか薬剤師などの体験もしてみたいなあと思いました。

患者さんに対してのやさしさがとても大切だと知ることができました。自分も人とコミュニケーションをとる時に意識してみようと思いました。それぞれの職種の連携がとても重要になっていくことがわかりました。人とのつながりが大きく、それが常に意識される仕事なのだと感じました。





不安を抱えながら病院外
来に通院している患者さん
とFAX
コーナーで
お話をした
り、地域の
方とお話を
する機会が
少なくなっ

様々なボランティアの取り
組みによって、笑顔の交流が
あり元気をもらい合っていま
す。みんなで学習をしなが
ら、特技をいかしたり、やさ
しい心を育む力になってきま
した。あなたも一緒に参加し
てみませんか。興味をお持ち
の方は、お気軽にお問合せ下
さい。

福島医療生協では、組合
員の皆さまの協力を得なが
ら医療・介護の現場で、支え
合い・助け合いのボランティア
の輪を広げています。

ていた高齢者住宅ひだまり
に入居されてる方々と、お友
達になり楽しく交流してい
ます。

元気なボランティア活動

健康づくりチャレンジのパ
ンフレットは、わたり病院、飯

九月から、健康づくりチャ
レンジ推進月間が始まりま
す。前号でもお知らせしまし
たが福島県・福島市の急性心
筋梗塞や脳梗塞の死亡率は
全国でも高く、大きな問題に
なっています。毎日のちよつと
した工夫・ちよつとした努力
で、大きな病気を予防するこ
とができます。家族みんなで
健康づくりチャレンジに参加
しませんか？

健康づくりチャレンジのパ
ンフレットは、わたり病院、飯

野診療所、クリニックさくら
みずの窓口や各地域の支部
役員の方が配布しています。
組合員活動部にご連絡いた
だければお送りします。ま
た、もっと詳しく知りたいと
いう方もご連絡ください。

例1・朝寝起きに口うがい
寝ている間に口の中で増
えた歯周病菌を、飲み込まな
いようにすることで病気を
予防、口の中の調子を見る。

例2・ダイエット
大きなご飯茶わんを小さ
ちよつとしたことを毎日続
けることが大切です。

例3・運動をする
いろいろな運動がありま
すが、歩くのがお薦め。歩数
計を持って、友人や家族と一
緒に歩くと長続き。家の中で
簡単にできる片足立ち等は、誰
でもできる足の筋トレと全
身のバランス感覚を養い二石
二鳥。

いろいろな運動がありま
すが、歩くのがお薦め。歩数
計を持って、友人や家族と一
緒に歩くと長続き。家の中で
簡単にできる片足立ち等は、誰
でもできる足の筋トレと全
身のバランス感覚を養い二石
二鳥。

9～12月 健康づくりチャレンジ 推進月間が始まります！



活動内容	曜日	時間
わたり病院外来で処方箋のFAXのお手伝い 病院内の案内、必要時車椅子の介助等	月曜～土曜日	9時～12時
ディサービスの利用者さんとの話し相手、お 茶サービス等のお手伝い	月曜～土曜日 平日又は1日	9:30～16:00 希望の時間で相談
ひだまり入居者と一緒に歌を歌います。 会の準備や体が不自由な方の援助を行います。	毎月第1木曜日	13:30～15:00
ひだまりでコーヒータイムの交流をしながら お手伝いをします	毎週金曜日	14:00～15:00

お問い合わせは、組合活動部(024-522-1236)まで



わたり病院リハビリテーション科
小林 翔汰
今回私は初めて原水爆禁
止大会に参加させていただ
きました。参加している方々

参加された小林さんと鈴
木さんからの感想です。
* * *

八月七日～九日に長崎で
行われた世界大会に、組合
員代表で中央支部の春山哲
郎さん、職員代表でリハビリ
テーション科の小林翔太さ
ん、医事課の鈴木康弘さんが
参加されました。多くの
方々からの署名やカンパに
よって支えられ、三人ともた
くさんの感動をお土産に無
事帰って来られました。



原水爆禁止二〇一七年 世界大会(長崎)に参加して

の平和を願う強い想いが、述
べられる言葉のひとつひと
つに込められ、重みとなりひ
しひと伝わってきました。
日本だけではなく外国から
も多くの人が参加されてお
り、核廃絶や平和を願う気
持ちが世界共通であること
を改めて実感しました。実際
に長崎という地に行き、目で
見て感じ被爆者の方々の言
葉を聞き、今まで教科書上で
学んだことだけではなないこ
とを多く学ぶことができました。
今後この貴重な経験を周



わたり病院医事課 鈴木康弘
今回の原水爆禁止世界大
会は、七月七日に国連で核兵
器禁止条約が採択されたこ
ともあり、とても重要な大会
でした。被爆者の方や大会に
参加されたたくさんの方々
のお話を聞くことができ、そ
れぞれの活動がやっとな実を
結んだと思いました。大会
には若い年代も参加してお
り、分科会等を経て意見交
流することができました。被
爆者の方が高齢化するなか、
私たち若者が体験を聞いて
受け継いでいかなければな
らないと思いました。

現在お読みいただしてい
る福島医療生協の機関誌を、
近隣の組合員さんに配ってい
ただける方募集中です。年

九回の発行予定です。ご協
力いただける方は組合員活
動部までご連絡ください。よ
ろしくお願いいたします。



組合員活動部
024-522-1236

組合員さんおでかけ情報

Cafe&Restaurant

「raku-raku(ラクラク)」

こちらのお店は「特定非営利活動法人ボネール」(福祉ハウスボネール)さんが就労継続支援事業の一つとして、2016年3月に開店。地域との交流の場、当事者の就労訓練の場となっています。ランチメニューは週替わりのAランチ・Bランチのほかキーマカレーセットがあります。温かい雰囲気店内では、ボネールの方たちの心が込められた手作り商品も販売されています。

伊達市保原町鉄炮町13-7

☎024-576-7021 営業日：火曜～金曜

営業時間：AM11:30～PM16:00

(ラストオーダー15:00)



東支部のあじさいとテーブルいっばい並べられた班長さんや班員のみなさんの手作りの料理を囲んで食事会が始まります。班員の皆さんが集まってくると次々に楽しいおしゃべりが始まりますが、ここでも作り方を聞いたり、味の感想を言い合ったりと話は尽きません。

班会も様々なテーマで開催されます。班員で支部行事に参加したり、カラオケや

東支部のあじさい班では、毎月賑やかに楽しい班会が開かれています。

班会は班長の佐藤富喜子さんのお宅で開催され、主に血圧測定と体操をしています。それが終わる

一番賑やかな班!? あじさい班

東支部 あじさい班



温泉に行ったり、季節によって企画を立てています。八月には健診を受けに行き、結果の説明会も開く予定です。

パワフルな班長さんとご近所の楽しい班員さんたちが盛り上げる「あじさい班」は生協で一番賑やかな班かもしれません。

看護師 正規・パート 募集中

急性期、回復期リハビリ、緩和ケア、在宅と切れ目のない医療で「住み慣れた地域で安心して過ごしたい」と願う患者さんやご家族を支える医療機関と一緒に働いてみませんか?

私たちは「思いやりを大切に、安全・安心・信頼の看護」を目指し、最期までその人らしく過ごせるように最善で最良の看護の提供に努めています。緩和ケアや在宅医療に興味がある方、地域に暮らす人々の生活に寄り添う看護に興味がある方、見学や体験、復職セミナーも行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

夜勤協定や深夜勤の回数に応じた勤務免除日を設け、育児や介護での休業制度、女子寮・院内保育所など安心して働き続けられる職場作りにも力を入れています。



先輩ナースから

入職当初は不安なことも多くありましたが、先輩方のあたたかい励ましに支えられ、楽しく充実した日々を過ごしています。職員一人ひとりが大切にされる働きやすい職場だと感じています。

問合せ／福島医療生活協同組合 総務課 採用担当 町田 024-522-1236

INFORMATION

これからの行事

どうぞご参加ください

福島県高齢者大会

◆日時／9月16日(土) 10:00～15:00

◆場所／いわき新舞子ハイツ

憲法9条の会講演会

◆日時／9月24日(日) 13:00～16:00

◆場所／白河文化交流館コメネス大ホール

第12回いいの川俣健康まつり

◆日時／9月30日(土)

◆場所／いいの診療所

第17回さくらみず健康まつり

◆日時／10月15日(日)

◆場所／ふれあいクリニックさくらみず

日本高齢者大会

◆日時／10月28日(土)～29(日)

◆場所／沖縄コンベンションセンター
沖縄国際大学

●お問合せ
福島医療生協組合員活動部
Tel.024-522-1236

忠魂碑のある風景

★ふるさとの歴史★ 29

渡利支部 三浦正雄

花見山公園の手前に殿上山という館跡があり南側に村の鎮守、春日神社があります。神社の向かって左側に「忠魂碑」があり、そのわきに地区内で戦死した人達の名前が刻まれております。広辞苑には「忠魂」とは主君や国家に対して、まごころを尽くして仕えることとあります。忠魂碑は神社公園などに数多く残され、戦死者の名前が刻まれております。

「平和のための戦争展」実行委員会では、毎回フィールドワークを行い「戦跡」として戦没者のお墓や忠魂碑を見てきました。渡利仏眼寺には「戦没者慰霊碑」があり、檀家の戦没者の氏名が刻まれています。

「紀元二千六百年」碑(二本松神社)なども「戦跡」です。身近にある「戦跡」から戦争の傷跡を考えたものです。



仏眼寺内



春日神社境内 忠魂碑